

外交研究会

昨年度コロナによる3年3か月中断を経て四半期に1回の頻度で再開した弊研究所の旗艦研究会は、今年度はほぼコロナ前の毎月開催に戻った。会場は、昨年同様、座席間隔が確保できるホテルの宴会場とし、加えて、教室形式から参加者が互いに顔・表情を見ることができる矩形の空間を囲む形とした。

主査の海外出張等で結局9回の開催に止まったが、本年度は国際情勢の流動化・不透明化に伴い12回の開催を実現したい。

回	開催月日	講 師	演 題
620	4月23日	中西寛 京都大学大学院法学研究科・教授	混迷する世界と国際政治の行方
621	6月3日	垂秀夫 前駐中国大使	『習近平中国』をどう見るか：その内政と外交、そして日中関係
622	7月22日	栗田卓也 元国土交通事務次官	国土の在り方を共に考える
623	8月5日	片山杜秀 慶応義塾大学法学部・教授	9世紀日本の複合的危機と今日への教訓
624	9月30日	上月豊久 前駐ロシア大使	ロシア情勢とウクライナ侵略
625	12月16日	神田真人 前財務官	激動の世界と政策対応
626	2月3日	兼原信克 元国家安全保障局・次長 石井正文 元駐インドネシア大使	自由主義国際秩序の将来研究会 ビルニユス及びプラハ出張報告
627	2月17日	富田浩司 前駐米大使	第二次トランプ政権の発足と世界情勢
628	3月10日	林肇 前駐英大使	混迷と分断の世界で：ブレグジット後の英国の行方